



2008～2009年度

# 中津平成週報

2008～2009年度 国際ロータリー・テーマ

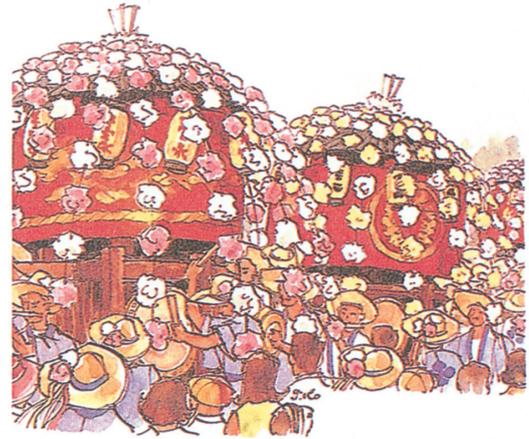
夢をかたちに  
Make Dreams Real

国際ロータリー会長 李 東建

国際ロータリー2720地区 中津平成ロータリークラブ

会長 加来敏男 幹事 矢頭和敏 会報委員長 田原和己

例会日/毎週木曜日 12:30 例会場/グランプラザ中津ホテル ☎24-7111  
事務局/〒871-0055 中津市殿町1383の1 中津商工会館2F  
☎0979-22-9716 FAX 0979-22-9722  
e-mail office@n-heisei.org http://www.n-heisei.org/



## 第937回例会 平成21年6月25日(木)

### ◎本日の例会プログラム

最終例会

### ◎次回例会プログラム

2009～2010年度 活動方針発表 会長、幹事

### 前回(936回例会)の記録 平成21年6月18日(木)

#### ■ビジター

江口喜代人君  
(ガバナー補佐)  
山本洋一郎君  
(中津RC)

#### ■出席報告

会員数 30名  
免除者数 0名  
対象者数 30名  
本日出席者 23名  
欠席者数 7名  
出席率 76.67%

#### ■前々回出席報告の修正

前々回欠席者 5名  
メイクアップ 2名  
欠席者 3名  
修正出席率 83.33%→ 90.00%

#### ●メイクアップ

梶原(中津中央RC)、岡野(中津中央RC)

#### ●欠席者

長野(定)、長野(修)、松本

### ◎ロータリーソング それでこそロータリー

#### ◎会長の時間 会長 加来敏男

ふるさと納税をご存知ですか? 先日の新聞に載っていましたが、これによりこの1年間で、大分県や市町村に305件計2869万円が寄付されたそうです。「ふるさと納税」とは、新たに税を納めるものではなく、ふるさと(自分が貢献したいと思う都道府県・市区町村)への寄付金のこと、個人が5,000円を超える寄付を行ったときに、住民税と所得税から一定の控除を受けることができる制度です。寄付先の「ふるさと」には定義はなく、出身地以外でも「お世話になったふるさと」や「これから応援したいふるさと」など、各自が想う「ふるさと」を自由に選ぶことができます。つまり、納税者が税金の納付先や使い道を指定できる、画期的な制度なのです。

ちなみに年収700万円、夫婦と子供2人、所得税率10%、住民税率10%、の方が4万円の寄付をした場合、控除額が3万5千円となるそうです。丸々減税になる訳ではなく、控除額が増えるということです。税率の高い方ならより減税になる訳です。

中津市ではどうかというと、この1年で9件、251万円だったそうです。寄付の多い地方自治体では色々工夫しているようで、特産品や温泉の入浴券などを送ったりして、次年

度も継続して貰えるように考えているようです。中津市も何か考えた方が良いでしょうね。

#### ◎幹事報告 幹事 矢頭和敏

- 例会変更 宇佐2001RC
- 会報受理 中津沖代LC、社会福祉法人清浄園より陽だまり2009年届く。
- 週報受理 中津中央RC
- 週報お礼 なし
- 幹事報告
  - ・2009～2010年度 地区会員増強セミナー開催のご案内。
  - ・中津中央RCより7月のプログラム届く。
  - ・別府東RCより創立30周年記念式典のお礼状届く。
  - ・仙台平成RCより創立20周年記念式典のお礼状届く。
  - ・日田RCより創立45周年記念式典の記念誌届く。

#### ◎江田ガバナー補佐より

1年間皆様のご協力、有難うございました。杉谷ガバナー2年目で当初は色々御迷惑をおかけしましたが、おかげさまで地区は正常になりました。大分側でガバナーノミニオンが決定いたしましたし第1分区では是非、ガバナーを出して欲しいです。来年度は辛嶋さんがガバナー補佐なので宜しくお願いいたします。有難うございました。

## ◎委員会報告

### ・親睦委員会

6/25の最終例会は17:00～森の風(かなかな)にて行います。18:30～に中津駅に送迎バスが出ます。

### ・SAA

最終例会の服装はクールビズで結構です。

## ◎ニコニコボックス

### ○江田ガバナー補佐

1年間、お世話になりました。会員増強とR財団への貢献に感謝いたします。

### ○辛嶋会員

先週、ガバナー補佐会議に参加してきました。

### ○加来会長

江田ガバナー補佐、本日は有難うございました。後、2回の例会で終わりになります。

### ○岩淵会員

父が入院していますので早く健康になりますようお願いいたします。

## ◎本日の例会プログラム

会長、幹事各委員会 一年を振り返って

1年を振り返って

会長 加来敏男

早いもので今日を含めてあと2回で私の役目が終わろうとしています。まずはこの1年間、私を完璧にサポートして頂いた矢頭幹事にお礼を言わせて頂きたいと思ひます。本当に感謝しています。

そして会員の皆様方、色々ご協力いただきまして本当に感謝しています。おかげさまで、大事な創立20周年の年度を無事に終わることが出来そうです。

私は現在、大分県歯科医師会の理事、中津歯科医師会の理事、六つの学会に所属し、その内の三つの学会では役を受けております。本業の医院の仕事も忙しく、毎日バタバタと、何をしているか分からないうちに過ぎてしまっている状況です。今となっては「もう1年経ってしまったの?」という心境です。この様な私でも無事に1年間務められたのも、ひとえに皆様方のお陰と本当に感謝しています。

今年度は永松会員が4名(長野修士会員、長野定生会員、川崎会員、大和会員)、土居会員が1名(山口会員)と5名の新入会員を迎えることが出来ました。残念ながら榎本会員が亡くなり、1名減となりましたが、若い仲間が4名増えてクラブに活気が出来たように思ひます。これで更に若い会員が入りやすくなったのではないのでしょうか。

創立20周年記念事業は皆さんのおかげで本当に素晴らしいものが出来ました。

少年野球教室では矢頭幹事の努力で、工藤投手、山口投手ら5名のプロ野球選手に来て頂きました。5周年の記念事業で行った野球教室を受けた中学生の小野剛少年が、巨人軍の投手になり、その引退後に姉妹クラブの仙台平成のメンバーの会社に勤めたという偶然が重なり、本当に素晴らしいものとなりました。

米村でんじろうサイエンスショーは、辛嶋会員の押しのお陰で開催でき、超満員の成功でした。入場料を千円にしたのが大正解で、2千円か3千円ならば来れなかった様な子供達も沢山来たようで、なおさら盛り上がりました。私の患者さんも沢山来ていましたが、皆から感謝されました。

記念式典、懇親会の主役は何と言っても「本マグロ」だったと思ひます。皆さん、本当に美味しく食べていました。我々の口に入るかなと心配しましたが、思ひのほか余り、翌日のゴルフコンペ後に残りを美味しく頂きました。小野会員、本当にありがとうございました。

記念誌は亡くなった榎本さんが中心となって作って頂き、素晴らしいものになりました。榎本さんの遺産だと思ひて

います。いまだに亡くなったことが信じられません。

姉妹交流はお休みだったので楽でしたが、次年度は熊本平成が記念式典を行いますので、江淵さんご苦労ですが参加をお願いします。

次年度はCLPを採用するので、委員会構成が大きく変わります。江淵会長、小野幹事は大変でしょうが頑張って下さい。出来る限りの協力はさせていただきます。

皆さん、本当に1年間、お世話になりました。有り難うございました。

\*幹事、各委員長の報告内容は活動報告にて御確認下さい。

## ◎2009年国際協議会レポート

### 第2回本会議 会員増強について

第2回本会議では、研修リーダーとSAA(会場監督)が紹介されました。スピーチのテーマは「会員増強」、RI会長の李東建氏が、ジョン・ケニー RI会長エレクトの考える会員増強について紹介しました。

李氏は、「ロータリーにとって新会員がいかに大切であるか、皆さんをご存じだと思います。新会員は、私たちの未来です。彼らがロータリー家族の次世代を担うわけです。私たちは適格な男女をクラブに迎え入れる努力を絶えず行っていかなければなりません。新しく入会した会員に特に気を配り、彼らがクラブに馴染んで、長きにわたって楽しく充実した時間をクラブで過ごせるよう配慮することを忘れないでください。ご存じの通り、人口は急増しています。世界の奉仕に対する需要は、ますます増えてきています。しかし、ロータリーの会員数はこのペースに追いついていません」と述べ、ケニー氏が要請した、次年度に会員に関する目標を紹介しました。

1クラブ少なくとも1人の会員純増。

80%の会員維持。

1地区少なくとも1クラブのクラブの創立。

「世界の人口の60%は35歳未満です。ただし、ロータリアンの平均年齢はもっと高いものになっています。年を取ることによって、英知や知識は豊かなものになりますが、若い人がいなければ私たちの知識や英知も引き継ぐ人がいません。私が若かった頃、私はアイデアに富み、エネルギーが満ち溢れていました。そして、この世を変えていこうと、意気盛んでした。ただし、自分ひとりではそれを達成できないことも知っておりました。私の父親はロータリアンでした。私の模範として父を見ていました。ロータリーの潜在能力を知っていたと思ひます。自分が何かをすることによって、さらには人と力を合わせることで、世界を変えることができると思ひておりました。それで私はロータリーに入会し、私の生活が変わりました」と、自身の経験を振り返りました。

「そして、自分たちと異なることに入会のチャンスを与えてこそ、人脈と才能の場が広がり、充実したクラブになります。若く、異なる職業や背景をもつ人をいれば、さらに充実したことが達成できるようになるはずで、多様性は強さをもたらします。可能性を広げています」と、会員増強の必要性を強調しました。

「模範を示すことのできる人が真のリーダーです。自分が新会員を推薦して初めて、ほかの人に同じことをお願いすることができます。皆さんの協力があれば、必ずロータリーの会員を増やすことができると確信しています。皆さんの協力のもとに、今日と未来に、夢をかたちにすることができます。ロータリーの未来はあなたの手の中にあるのです」と、話を結びました。

(文責: 田原)